



「飛鳥・藤原の宮都」

世界遺産登録



石舞台古墳

今年7月、韓国・釜山で開催された第48回ユネスコ世界遺産委員会で「飛鳥・藤原の宮都」が、世界文化遺産に登録されました。太宰府市も心よりお祝い申し上げます。

6～8世紀の史跡名勝からなる構成資産は、奈良県橿原市・桜井市・明日香村に合わせて19件あり、このうち15件が本市と包括連携協定を締結している明日香村にあります。明日香村における世界遺産登録は、古代日本の歴史を物語る私たちすべての誇りです。これからも明日香村とともに、歴史と文化を守り、未来へ伝えていきます。

問い合わせ 国際・交流課（内線☎482） ページID 49414

世界遺産とは

人類や地球にとってかけがえのない価値をもつ建造物や遺跡、自然環境などを、人類共通の財産として保護し、次世代へ確実に伝えていくために創設されたものです。

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産としての価値

奈良県橿原市・桜井市・明日香村にある「飛鳥・藤原の宮都」は、今から約1400年前、中国大陸及び朝鮮半島との交流のもと、日本で初めて古代国家の宮都が誕生し成立したことを示す考古学的遺跡群です。

「飛鳥の宮都」から「藤原の宮都」への変遷は、東アジアの古代国家形成期における中央集権体制の形成を示すことができる唯一の証拠です。

構成資産の紹介

	構成資産	三要素
飛鳥の宮都 〔中央集権体制の誕生〕	あすかきゅうせき 飛鳥宮跡	宮殿・官衙跡 かんが
	あすかきょうあとえんち 飛鳥京跡苑池	
	あすかみずおちいせき 飛鳥水落遺跡	
	さかふねいしせき 酒船石遺跡	
	あすかでらあと 飛鳥寺跡	仏教寺院跡
	たけなでらあと 橘寺跡	
	やまだでらあと 山田寺跡	
	かわらでらあと 川原寺跡	
	ひのくまでらあと 檜隈寺跡	墳墓
	いしづたいこふん 石舞台古墳	
藤原の宮都 〔中央集権体制の成立〕	しょうぶいけこふん 菖蒲池古墳	
	けんごしづかこふん 牽牛子塚古墳	
	ふじわらきゅうせき 藤原宮跡	宮殿・官衙跡
	だいかんだいじあと 大宮大寺跡	仏教寺院跡
	もとやくしじあと 本薬師寺跡	
	てんむ 天武・持統天皇陵古墳	墳墓
	なかおやまこふん 中尾山古墳	
	キトラ古墳	
	たかまつかこふん 高松塚古墳	

キトラ古墳壁画 朱雀



写真提供：明日香村

飛鳥水落遺跡



酒船石遺跡

川原寺跡

高松塚古墳

写真提供：一般社団法人飛鳥観光協会

3 広報だざいふ 2026.9 (令和8年)

市ホームページアドレス <https://www.city.dazaifu.lg.jp/>